

日本学術会議公開シンポジウム 「今こそジェンダー主流化を」

日本のジェンダー平等は世界最低レベル
男女共同参画は計画されても
社会制度・慣行のジェンダー・バイアスが実現を妨げる
いかに打開するか

総合司会：皆川満寿美（中央学院大学准教授）

13:30 開会挨拶

白波瀬佐和子（東京大学大学院特任教授）

報告1 「ジェンダー主流化—国際動向と日本への示唆」

大崎麻子（特定非営利活動法人Gender Action Platform理事）

報告2 「『扶養の範囲で働く』ことが招くジェンダーバイアス」

近藤絢子（東京大学教授）

報告3 「ジェンダー統計の挑戦と課題—採用選考に関する事例を中心に」

村尾祐美子（東洋大学准教授）

報告4 「埼玉県におけるジェンダー主流化の取り組みについて」

大野元裕（埼玉県知事）

休憩（15:35～15:45）

15:45 コメント、フロアを含めた討論

コメント、司会：大沢真理（東京大学名誉教授）

16:55 閉会挨拶

柘植あづみ（明治学院大学教授）

17:00 閉会

日時：2026年2月28日（土） 13:30～17:00

会場：日本学術会議講堂（東京都港区六本木 7-22-34）

東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5出口

参加費無料・要事前申込

定員：320人（定員に達し次第締め切ります）



申し込みは左のQRコードあるいは下記より
<https://forms.gle/UABotoAcFks7jviX9>

問合わせ先：皆川満寿美

minagawa(a)mc.cgu.ac.jp

※(a)を@に変えてお送りください。

主催：日本学術会議 社会学委員会 ジェンダー・世代等の交差と包摂分科会